

現代日本の教育について データから考える

第80回
公開講座

—格差の実態とその背景へのアプローチ—

2026年3月2日(月)～5日(木)

●会場／武蔵大学1号館地下1階1002教室

●時間／10:00～12:00

●コーディネーター／

苫米地 なつ帆

(本学社会学部准教授)



第1回
3/2
(月)

日本の学力格差の特徴と構造

—国際比較からの示唆—

講師 垂見裕子／本学社会学部教授

第2回
3/3
(火)

家族のかかわりと教育格差

—親やきょうだいとの関係に注目して—

講師 苫米地なつ帆／本学社会学部准教授

第3回
3/4
(水)

子どもの生活時間からみる
教育と社会

講師 胡中孟徳／東京大学社会科学研究所附属社会調査・
データアーカイブ研究センター助教

第4回
3/5
(木)

中学受験の実像と「効果」をデータで読み解く：
公立・私立の違いと格差を考える

講師 森いづみ／中央大学経済学部准教授

【受付期間】2026年1月22日(木)～2月23日(月) 定員/先着250名 ※定員に達し次第、申込受付を終了します。

【受講料】全4回 2,000円(一般) 500円(武蔵大学在学生父母、武蔵学園卒業生) 無料(高校生、在学生*)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】裏面をご覧ください。

許可なく転載することを禁止します。



MUSASHI
UNIVERSITY

武蔵大学

経済学部

人文学部

社会学部

国際教養学部



3/2(月)

日本の学力格差の特徴と構造—国際比較からの示唆—

講師: 垂見 裕子〈本学 社会学部教授〉

【講演者】 たるみ ゆうこ…武蔵大学社会学部教授。コロンビア大学人文科学系大学院博士課程修了。Ph.D.(比較教育学・社会学)。国際協力事業団(JICA)職員、UNICEF職員、お茶の水女子大学助教、早稲田大学准教授を経て、2017年より現職。文部科学省の全国学力調査専門家会議委員、ケア・インターナショナルジャパン理事を務める。共著に『学力格差への処方箋』(勁草書房)、『教育を読み解くデータサイエンス』(ミネルヴァ書房)など。

【講演内容】 近年「親ガチャ」という言葉が話題になるなど、生まれによる教育格差への関心が高まっています。日本の子どもの学力は、生まれによってどの程度、そしてなぜ左右されるのでしょうか。国際比較データから日本の教育格差の特徴と背景を示し、学校と社会ができることを考えます。

3/3(火)

家族のかかわりと教育格差—親やきょうだいとの関係に注目して—

講師: 苦米地 なつ帆〈本学 社会学部准教授〉

【講演者】 とまべち なつほ…武蔵大学社会学部准教授。東北大学大学院教育学研究科博士後期課程修了、博士(教育学)。東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター助教、大阪経済大学専任講師・准教授を経て、2025年より現職。専門は社会階層論、計量社会学、家族社会学、教育社会学。共著に『人生初期の階層構造』(東京大学出版会)。

【講演内容】 教育格差が生じる背景にはさまざまな要因がありますが、その中でも重要なもののひとつが家族に関する事柄です。家庭の経済的な状況や親の教育方針、親子のかかわりやきょうだいのかかわりなどといったその家族に特有の状況と個人の教育達成との関連について、データ分析の結果を示しながら考えます。

3/4(水)

子どもの生活時間からみる教育と社会

講師: 胡中 孟徳

〈東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター助教〉

【講演者】 こなか たけのり…東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター助教。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士(教育学)。専門は教育社会学、教育と社会階層研究。主要論文に「中学生の生活時間と社会階層」『教育社会学研究』100集。共著に『教育と社会階層: ESSM全国調査からみた学歴・学校・格差』。

【講演内容】 子どもがいつ・どんな行動をするかは、さまざまな形で社会的に注目されています。勉強ばかりでゆとりがないとされたこともあれば、テレビやゲームばかりで外遊びしないことを問題視する声もあります。そうした声の多くは子どもの実態を把握したものではありませんでした。本講演では、実際のデータから、子どもの生活時間の実態を紹介しその現状と問題点について考えます。

3/5(木)

中学受験の実像と「効果」をデータで読み解く:

公立・私立の違いと格差を考える

講師: 森 いづみ〈中央大学 経済学部准教授〉

【講演者】 もり いづみ…中央大学経済学部准教授(社会学担当)。専門は教育社会学と社会調査データの計量分析。米国ペンシルバニア州立大学大学院でPh.D.(教育理論と政策)を取得。立教大学社会学部、東京大学社会科学研究所などを経て現職。国立教育政策研究所フェロー。著書に『国際学力調査からみる日本の教育システム』(明石書店、2025年)。

【講演内容】 中学受験や私立中学進学にはどのような「効果」があるのか。さまざまな社会調査のデータを用い、成績・意欲・学校生活の変化から大学進学への難易度まで、多面的に検証する。公立と私立の差がどこに生じ、家庭背景がどの程度影響するのかを明らかにし、因果関係のとらえ方もふまえて教育格差の実態を読み解きます。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み
▼
<https://web.634.co.jp>

FAX、メール、郵送によりお申し込み ➡ 下記の①～⑥を明記の上、申し込み先まで送信(郵送)

①第80回公開講座

「現代日本の教育についてデータから考える—格差の実態とその背景へのアプローチ」

②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤FAX番号(ある方)

⑥申込区分(一般、本学在学生父母、本学園卒業生、本学在学生、高校生)

※本学在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します

※本学園卒業生とは、武蔵大学、大学院、武蔵高等学校・中学校の卒業生を指します

●注意事項

(ア)いったん納入された受講料は原則お返しできません。

(イ)やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。

(ウ)緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。

(エ)本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等でのご来場はご遠慮ください。

※本学在学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。

※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。

※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。

※お申込後、「受付票」は2月24日以降に発送いたしますので、当日お持ちください。

●個人情報の取り扱いについて

武蔵大学公開講座受講者の個人情報は、本学の個人情報保護方針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。各種講座の案内送付は、当該業務の委託を受けた業者(以下「委託業者」という。)において行います。武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学が明示する用途のみに使用し、委託業者にはその委託業務を越えた利用はありません。また、委託業者に対しては、個人情報が漏洩・流出することのないよう厳重な管理を義務づけます。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学・大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ (講座当日は会場対応のため閉室しております)

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1(武蔵大学内) TEL:03-5984-3785

FAX:03-5984-3787 E-mail:direct@634.co.jp URL <https://web.634.co.jp>



MUSASHI
UNIVERSITY